



私たちは、家族、職場、地域社会に帰属し、相互に承認しあえる繋がりを形成することで、生活を安定させてきました。しかし、コロナ感染の中、行動制限や活動自粛が求められ、高齢者の単身又は夫婦二人世帯の方や、家庭内の理由から安定的な帰属の場所が得られず、社会的つながりが弱い方が増加しているように感じられます。

重要性を増す地域でのつながり

こうした社会的なつながりが薄れ、孤立してしまうといったケースは、アフターコロナ、ウィズコロナへと、社会全体が変化することで、今後増加していくことが予想されます。

このような、つながりの弱さがもたらす問題を、本人の自助努力で解決することとは難しく、家族や職場、地域社会の変化が増加させていることを考えれば、社会問題として取り組むべき課題です。

つながりの場 「ココくるステーション」

祥雲館では、これまで地域交流・多世代交流の場として、「笑雲café」「祥雲館町おこしプラザ」「認知症カフェ（すみれカフェ）」など、祥雲館を拠点に地域活性化活動を行ってきました。しかし、これからは、コロナ禍で変化する

地域社会の中で、社会から孤立する人を出さない地域づくりが必要だと考えます。そのためには、福祉制度の狭間のSOSを受け止めることが重要になってくるのではないのでしょうか。

そこで今夏より、リビング・ホーム祥雲館すみれでは、認知症高齢者やその家族が気軽に集える場として「ココくるステーション」を始めます。自分自身や身近な人の認知症への不安や、モヤモヤした気持ちを手紙に書いてポストに投函していただき、手紙やメールでのやりとりや、オンライン上で状況を共有するなど、一人一人に合った支援を行います。そして、その方の思いに寄り添い、その時々を感じる気持ちの変化を共有しながら、安心できる場（道しるべ）としてココくるステーションを育てていきたいです。私たちの活動が地域の方々の問題解決のヒントとなり、安心して



「ココくるステーション」案内

ふらっと安心できる場つくり

人と地域がつながるためには、高齢者介護や障がい者支援といった制度に縛られず、ふらっと集まり自然に会話ができる、寛容で自由な場が必要だと考えます。思いを共感しあい、居心地のよい場を提案していきたいです。

誰ひとり取り残されない豊能町を目指して



第91号
発行：令和3年7月1日



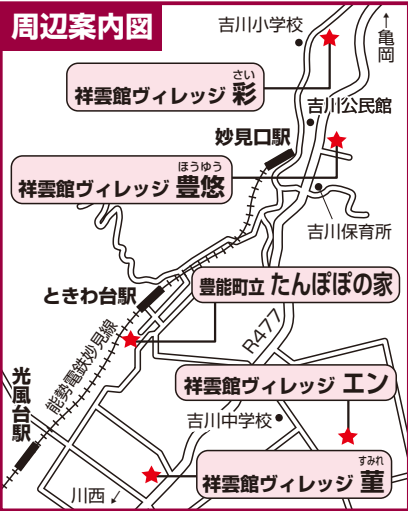
社会福祉法人 豊悠福祉会

祥雲館

人生の学校

〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1
TEL：072-733-2301(代表)
FAX：072-733-2303

番号をお間違いないようご注意ください



第42回 Withコロナ ～地域のつながり～

今年も新型コロナウイルスの影響で、皆さんの生活にも変化があったと思います。今回は、昨年10月に開催した笑雲caféと同じく定員数を減らし、時間短縮で笑雲caféを開催します。今回のテーマは「地域のつながり」です。ざっくりと皆さんに皆様とお話しさせていただきたいと思います。

また、ご参加の方には、お茶菓子の提供なし、検温の実施など感染症拡大防止対策へのご協力をお願いいたします。

【日 時】令和3年7月24日(土) 10時～11時
【場 所】祥雲館ヴィレッジ・エン En-GAWA
(東ときわ台6-12-8 ☎072-733-2181)
【定 員】15名(先着順) ※参加費無料



お申込み：祥雲館 ☎072-733-2301 (7月20日(火)まで)
※お車で越しの場合は、申し込み時にお伝えください。

地域交流スペース En-GAWA

7月より🌞木・金10時～13時、再開します！

第4波コロナ感染拡大・緊急事態宣言に伴い、長いお休みをいただくことになってしまいました。

7月よりEn-GAWAで皆様とお会いできることを楽しみにしております。



プレオープンとして、
6月25日(金) 10時～13時

よろず相談会@ケアプランセンター祥雲館を予定しています。

- 駐車スペースが狭い為、お車でのご来館はお控えください。
- 詳しい案内は、En掲示版に掲示いたします。
- En-GAWAをご利用される際は、感染予防にご協力をお願いいたします(記名・検温・マスク着用・ソーシャルディスタンスなど)。

オンライン面会始めます！ 特別養護老人ホーム祥雲館

長引く緊急事態宣言下により、面会中止期間が続くなか、ご家族の皆様には、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。特別養護老人ホーム祥雲館では、7月16日よりオンライン面会ができるようになります。面会の方法は、建物1階まで来ていただき、利用者の居室とオンラインでつなぎ、お互いにお顔をみながらお話していただく形となります。今後は、ご自宅に居ながら、遠方からでも面会していただけるように準備を進めて参ります。

オンライン面会は、新しい取り組みとなりますので戸惑うこともあります。ぜひ、ご活用ください。



【お問い合わせ】

特別養護老人ホーム祥雲館（千田） ☎072-733-2356

TOPICS

★ご当地メニューの日

月1回、管理栄養士が提案！

〈4月のご当地〉 石川県

- 金沢カレー／千切りキャベツが添えられていて、ソースのかかったカツがご飯の上に乗っているのがオリジナルだそうです。



- べろべろ／溶き卵の寒天寄せのこと。玉子をちらした様子が、べっ甲と似ていることが名前の由来だとか。

〈5月のご当地〉 宮崎県

- チキン南蛮／揚げた鶏肉を甘酢に浸し、上からタルタルソースをかけています。
- ぬた芋／宮崎県で昔からよく食べられている里いもを使った郷土料理。里いもとすりごまのみそ和えです。
- 切干大根／宮崎県が全国一の生産量を誇っています。



★「3月のおやつレク」 ショートステイ

食紅でピンク色に染めたホットケーキミックスで薄い生地を焼き、着物を作りました。こしあんの上にイチゴを盛り、着物を着せると、可愛いお雛様が出来上がり！一緒に差し上げたカードも喜んでもらえました。



★「豆ご飯」 セカンドリビング

秋に種をまき、大切に育ててきた豆を収穫しました！豆の収穫を楽しんだあと、実を取り出す作業をしました。皆さん手慣れた手つきで作業されあっという間でした。その日の夕食に豆ご飯にして美味しくいただきました。



TOPICSはホームページでも詳しくご覧いただけます。

祥雲館

検索

facebookはこちら⇒



祥雲館 facebook

検索

次号は、令和3年9月25日～30日配布予定です。

「脳の活性化」能トレ・クイズ レクリエーション

現在、特別養護老人ホームでは認知症予防の一環として、毎月2回程度脳トレDAYを実施しています。主にホワイトボードを使用し、漢字クイズやクロスワードパズル、言葉探しなど職員が趣向を凝らして取り組んでいます。

一人で黙々とドリルをするのも良いのですが、他の利用者や職員と一緒に楽しみながら参加することで、脳にさらに刺激が与えられ、正解した時の喜びを皆で共有できます。今後もこういった取り組みを増や



し、利用者がもっと毎日を楽しんでいただける施設づくりをしていきたいと思っています。

特別養護老人ホーム
祥雲館ブーケ 関田 丈二

シルバーじゃない！ ゴールドだ！ リビング・リハ GOALD

令和元年に事業所の名称が「リビング・リハ GOALD」に代わり、ようやく、利用者様やご家族様にも慣れ親しんでいただけるようになりました。

リビング・リハ GOALDは、入浴やレクリエーション、リハビリなど、仲間とゆつくり、くつろぎながら、自分らしく自由に過ごしていただくデイサービスです。リハビリは、常時2名以上の専門スタッフが、利用者一人一人の心身の状態を見ながら、最適な運動を支援しています。また、充

実したリハビリ機器を使い、可能な限り、理想の日常生活を過ごせるよう、利用者さんとお話ししながら行っています。

これからは、リビング・リハ GOALDが、自分らしく生き生きと輝き続ける場所であり続けるよう、スタッフ一同頑張っていくと思います。

励ましの言葉やエールをいただきましたこと、感謝申し上げます。



主任 寺野 久子

編集後記

読書嫌いな私が読みたくなった書籍「人生100年時代の人生戦略ライフシフト」を紹介します。

人生100年、100年後の未来をどのように迎えるか。従来の教育↓仕事↓引退で人生が終わるのではなく、様々なキャリアを持って、生涯を通じて挑戦する（できる）時代を長く生きる。この本を読んで、自分の中の新しい価値が見つかるのではないかと思います。早速、アマゾンで注文しました。

広報担当 滝本